

2017(平成29)年6月
新座市精神障害者家族会・やすらぎの会
〒352-0023 新座市堀ノ内3-4-11
No.202 社会福祉法人にざいん
☎ 048-482-5155

オープンダイアログ (開かれた対話) とは…… 6月例会報告

野火止一丁目集会所 出席会員18名

梅雨の晴れ間の暑い日で、部屋には冷房を入れて例会が始まりました。5月に実施した日帰りバス研修については、目的地の「府中市郷土の森博物館」は博物館の中の歴史の展示物も庭園の自然も大変良かった、近場でもいいところがあり、来年も良いところを見つけて実施してほしいとの声がありました。6/4の新座市福祉フェスティバルにあたっては、たくさんの方のご協力が無事終えることができました。福祉の里の会場には82団体が参加し、来場者は約8,000人になったそうです。やすらぎの会の模擬店には前日の準備も含めて、二日間で延べ29名の方が参加し、赤飯作り・販売が事故もなく、順調に進行しました。会員を始め、後援会の方、ボランティアの学生さん、ご協力誠にありがとうございました。例会での反省として、来年度は餅米は40キロにして少しゆとりを持ってやりたい、またテントの場所としてはもっと人がたくさん通る場所できるといい等の意見が出ました。

話し合い

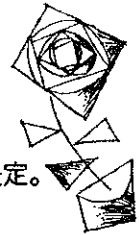
後半の学習では……「オープンダイアログ (開かれた対話) とは」をテーマに

「みんなねっと」2017年4月号の特集記事を資料に学習をしました。例会当日の資料をそのまま次ページに掲載します。

学習を通しての感想では、とてもいい治療法だと思うが今の日本では、実現は夢のようだというものが全体の空気でした。アウトリーチは重い精神障害の方が対象だが、オープンダイアログは発病の初期の段階ですぐ対処するという点で、大きな違いがある。しかも無料というのは助かる。今訪問診療に来てもらっているが、ある人は週一回、ある人は月一回で連続して毎日など本当に理想的だ。日本でも市川などでそういう治療が始められているらしいが、もっともっと広がってほしい。まだまだ話し足りないようでこの続きは、また来月ということになりました。

第1部 オープンダイアログとは

- ◆ 開発に30年：フィンランドで、1980年頃から。ケロプタス病院。患者を地域で支援。心理的治療法の開発。
- ◆ 急性症状の訴えを受け、24時間以内に支援者2名、本人自宅を訪問。家族も対象。開かれたミーティング。
- ◆ できるだけ薬物、入院頼らず治療。近年高い効果で、世界で話題に。
- ◆ 病院：年中無休、24時間電話を受付。家族療法の専門的研修を受けた職員（看護師、医師、心理士、精神保健福祉士など）が、2名で自宅あるいはクリニックのミーティングルームに訪問。本人、家族、親しい関係者集まる。1日1回1時間ほど、必要に応じて初日から毎日。
- ◆ ミーティングの内容：本人や家族の発言を肯定的に温かく受け止め、全員が自分の心に浮かぶことを日常の言葉で話す。支援者が話題を調整し、連帯感が生まれるように。本人の病的体験、抑圧から解放。
- ◆ 旧来の医療：本人の中で問題が固定化・深刻化。
- ◆ 新しい療法：発症後すぐに濃密な人間関係に守られ、苦境脱出。
- ◆ 本人抜きにはしない：本人の前で、本人中心に話し合い、本人が決定。
- ◆ 皆が平等。本人、家族、支援者、関係者すべて上下関係なし。
- ◆ 専門性：支援者、国家資格+研修3年。
- ◆ 連続性：担当者、交代せず長期間責任を持つ。未解決、不確実残して翌日また続きを。
- ◆ 対話を最重要視。「傾聴」、「いま、この場」の対話の質。
- ◆ 治療費の自己負担、無料。支援者は公務員。治療効果に実績あり。投薬、精神残遺、2年間の再発率、障害者手当の支給……伝統的療法に比べすべて半分以上。



第2部 ACTとオープンダイアログ

- ◆ 日本でのODの実践は？ 今の医療制度下では複数職員の訪問ができない。
- ◆ 強制入院をいかに避けるか、なくしていくか。
- ◆ 「病気」をどう考えるか、医療者の発想の転換が必要。
- ◆ 生活者として人生を歩んでいる人の、何かに役に立つような対話。これまでの医療、病院を中心としたシステムを手放していく。支援者と当事者、双方向的な変化→ODの良いところ。

研修会のお知らせ

29年度埼家連ピアカウンセリング事業

事例を通して学ぶこと

電話相談員の研修ですが、家族会会員の皆様も、それぞれの対応に家族会活動に参考になる研修会です。ぜひご参加ください。

日時 7月14日(金) 13:30~16:00

会場 所沢どんぐりの家 4階
所沢市若松町 839-10

(西武新宿線 航空公園駅東口 徒歩20分 西武バスあり)

講師 埼玉県立大学 教授 横山恵子 先生

※参加ご希望の方は一之瀬または鶉飼までご連絡ください



アウトリーチでの

家族支援の新たな可能性

～オープンダイアローグ・復興支援・ACT etc.～

日時 7月17日(月・祝) 13:00~16:30

会場 ビジョンセンター東京別館 7階 703
東京駅八重洲南口 徒歩4分

参加費 一般3000円 コンボ賛助会員2000円

[内容・講師]

①講演「被災地での家族支援」

講師:原 敬造 (原クリニック)

②講演「オープンダイアローグから学び取り組んでいること」

講師:下平 美智代 (訪問看護ステーション ACT-J)

③リフレクティング・プロセスを用いたフロアとの対話

「地域での家族支援の新たな可能性」

ファシリテーター:渡邊 真里子 (ちはやACTクリニック)

久永 文恵 (地域精神保健福祉機構・コンボ)



事前申し込み締め切り 7月9日(日)

事前申し込みの時点で定員に達しない場合は、当日参加も可能

※申込の様式がありますので、参加ご希望の方は、一之瀬・鶉飼まで

【今後の予定】

06/21 (水) 法人にいざ後援会役員研修 社会福祉法人けやきの郷 (川越市)

発達障害支援センター「まほろば」他社会福祉施設見学

06/22 (木) 法人にいざ定時評議員会 10:00~12:00 (第3庁舎2階会議室)

06/22 (木) 法人にいざ理事会 12:00~ (第3庁舎2階会議室)

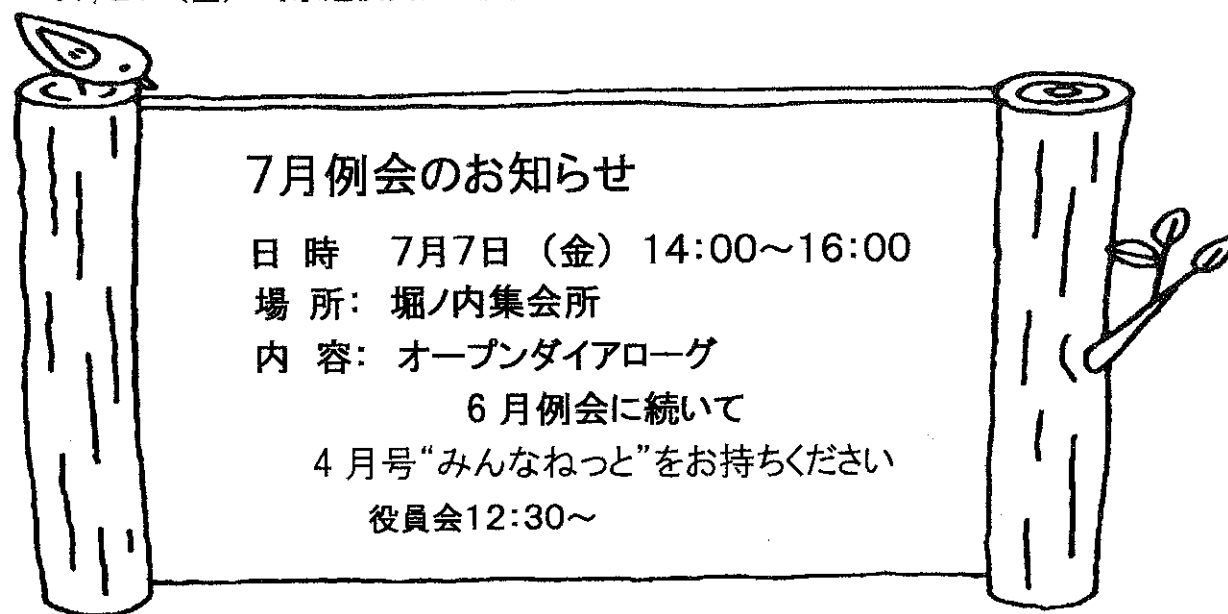
07/01 (土) 埼家連Bブロック会議 13:30~16:00 (にいざほっとぷらざ)

07/05 (水) 法人にいざ後援会役員会 10:00~12:00 (堀ノ内集会所)

07/07 (金) 7月例会(役員会12:30~)14:00~16:00 (堀ノ内集会所)

07/14 (金) 埼家連相談員研修 13:30~16:00 (所沢どんぐりの家)

07/21 (金) 埼家連役員会・理事会 10:00~ (県交流センター)



7月例会のお知らせ

日時 7月7日(金) 14:00~16:00

場所: 堀ノ内集会所

内容: オープンダイアローグ

6月例会に続いて

4月号“みんなねっと”をお持ちください

役員会12:30~

家族相談日

7月の家族相談はお休みします

相談を希望される方は個別に相談員に連絡して下さい。

担当は 鶉飼(080-1053-7816)

矢野(090-9248-5343) です。

※ 埼家連の「心をつなぐ家族電話相談」もご利用ください

☎ 080-6685-2128(携帯)

相談日 毎週 月~木(金、土、日、祝日 は休み)

10:00~12:00 13:00~15:00 (昼食時間は休み)

